

令和6年度クリーニング師試験 技能筆記試験問題

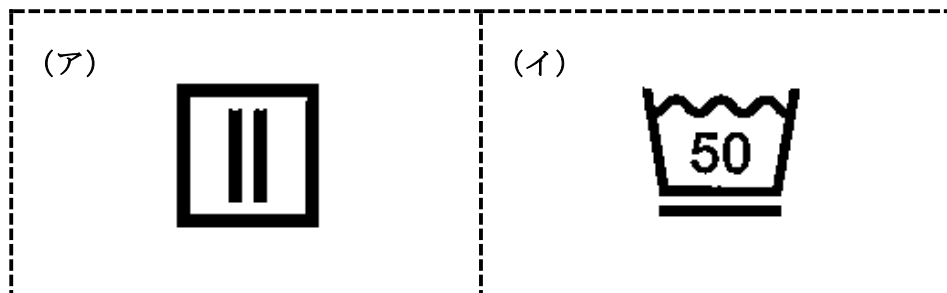
係員の指示があるまで開いてはいけません

(注意事項)

- (1) 解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入すること。
- (2) 試験時間は10分間とする。
- (3) 時間中、トイレ等やむを得ない場合は、手をあげて係員の指示に従うこと。
- (4) 答案作成は鉛筆書き（シャープペンシル可）とすること。
- (5) 文字が不鮮明で読めないときは、手をあげて係員にその旨を告げること。
- (6) 受験中、隣席の者と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命ずるものとする。
- (7) 受験票は、名前が書かれた面を上にして、必ず机上の受験番号札の下に置くこと。
- (8) 試験終了後は、受験番号等に記入漏れがないかを確認めたうえ、試験官の指示に従い退室すること。

福 島 県

問 1 次の図は、日本産業規格（JIS L0001）で定める表示記号を示したものである。それぞれの表示記号の意味を選択肢の中から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。



〔選択肢〕

- ① 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
- ② 洗濯処理はできない。
- ③ 日陰でのぬれつき干し乾燥がよい。
- ④ 液温は、50℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
- ⑤ ぬれつき干し乾燥がよい。
- ⑥ 洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。
- ⑦ 漂白処理はできない。
- ⑧ 液温は、50℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。

問 2 次の繊維（A）と使用できる漂白剤（B）との組み合わせとして、不適当なものの一つを選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 (A) ビニロン — (B) 次亜塩素酸ナトリウム
- 2 (A) アセテート — (B) 亜塩素酸ナトリウム
- 3 (A) 絹 — (B) 酸性亜硫酸ナトリウム
- 4 (A) 毛 — (B) 過酸化水素

問 3 次のシミ抜きに関する文について、それぞれの（ ）の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 油性のシミ抜き剤は一般に溶剤系で、(ア)・市販油性シミ抜き剤・モノクロロベンゼンまたは酢酸アミルの3つに分類される。
- 2 水溶性のシミはたんぱく系とタンニン系の2つに分類され、たんぱく系のシミには(イ)のシミ抜き剤を使用する。

[語 群] (ア) ①アンモニア水 ②水酸化ナトリウム ③揮発性溶剤
(イ) ①中性 ②アルカリ性 ③酸性

問 4 あなたの前にある繊維を見分けて、その番号を解答用紙に記入しなさい。【繊維鑑別問題】